

「平和大通りの利活用のためのワークショップ」通信 最終号

日 時：令和5年1月30日(月)18:00～20:00
場 所：合人社ウェンディひと・まちプラザ 研修室ABC
参加者：43名

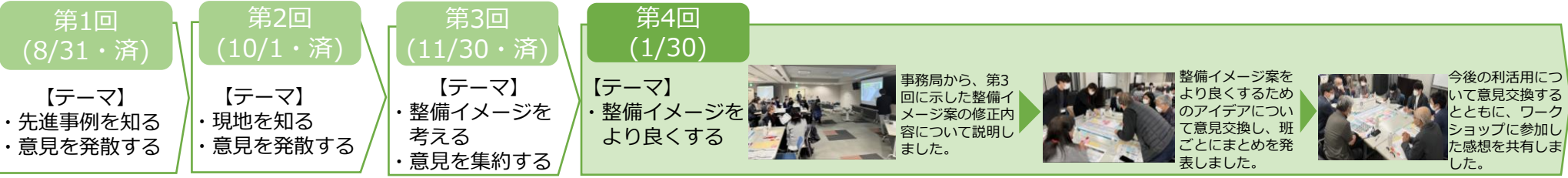
この度は、「平和大通りの利活用のためのワークショップ」(第4回)にご参加いただきありがとうございました。本通信では、このワークショップの結果の概要についてお知らせします。

ワークショップとは？

参加者が自らの考え方や意見を語り、相互の意見から何かを学び、新たな考えを生み出す意見交換の場です。本ワークショップでは、沿道の町内会、地区社会福祉協議会、商店街組合、平和活動団体の代表者の方々や平和大通りの利活用に関心のある市民の方々、本事業の関係課の担当職員などが意見交換を行い、考え方を共有しながら、通りの魅力や価値を高める利活用や施設の整備内容などを考えます。



1 ワークショップの流れ



2 意見交換のまとめ

- 「整備イメージをより良くする」をテーマに「整備イメージ」と「今後の利活用」について意見交換を行いました。
- (1) 「整備イメージ」について
各班で意見交換を行い、発表後、この整備イメージ(案)を基に、今回の意見を踏まえながらブラッシュアップしていくことを確認しました。意見交換を踏まえて、ブラッシュアップし、取りまとめた整備イメージの概要は2ページをご覧ください。
- (2) 「今後の利活用」について
各班で意見交換を行い、ワークショップに参加した感想も共有しました。各班の感想は3ページをご覧ください。



【整備イメージについて】

ゾーン名	より良くするためのアイデア
Aゾーン	・被爆者の森では、昼時間にオフィスワーカーが休憩しているため、ベンチがあると良い。
	・Cゾーン等の石燈籠の一部を被爆者の森の北側区画に移設すると良い。
	・広島市立大学芸術学部の卒業制作の発表の場として活用すると良い。
Bゾーン	・遊具広場に柵等を設け、安全性を確保すると良い。
Cゾーン	・中央通りの西側の区画も、東側の区画のように沿道側にウッドデッキがあると良い。
Dゾーン	・NHK広島放送局前のバス停の待合環境の向上を図るため、ベンチを増やすと良い。
Eゾーン	・平和記念公園南側の低木の植え込みが美しくないため、植え替えると良い。
	・平和記念公園には多くの観光客が訪れるため、噴水付近に写真パネルを設置すると良い。
Fゾーン	・遊具広場に柵等を設け、安全性を確保すると良い。
	・小網町以外の遊具広場にも健康遊具があると良い。
各ゾーン共通	・樹木の根の保護と市民が利用できるエリアを区分すると良い。
	・駒止め(木杭)を撤去すると良い。

【今後の利活用について】

項目	今後の利活用のアイデア
利活用の内容	☐ 食のイベント(朝市の拡大(曜日・回数・場所)、マルシェ、産直市、ファーマーズマーケット)
	☐ 文化芸術系のイベント(アートフェスティバル、アートパフォーマンス、芸術展、サブカルチャーイベント、神楽)
	☐ 音楽系のイベント(音楽ライブ、大道芸や生演奏)
	☐ 環境系のイベント(スポーツゴミ拾い、清掃イベント)
	☐ 樹木を活用したイベント(ツリークライミング、樹勢回復作業、植物観察、グリーンウォークラリー)
	☐ 地域の祭り
イベントが開催されやすい環境づくり	☐ イベントを開催しやすい受付環境の整備(申請許可なしでのイベント開催、手続の簡素化)
	☐ 地域イベントに配慮したルールづくり
	☐ イベント利用の手順やルールの統一化と周知
	☐ 社会実験等を通じたルールや環境づくり
管理・運営体制づくり	☐ 地域住民による主体的に維持管理に関与できる仕組みづくり
	☐ ゾーンごとの管理の体制づくり
	☐ イベント等を総括する運営組織づくり
	☐ Park-PFI事業者と周辺住民の連携による体制づくり(協議会等の設置)
	☐ 町内会とは別のリーダーづくり

ワークショップで取りまとめた「平和大通りの利活用のための整備イメージ」(概要)は以下のとおりである。

平和大通りの利活用のための整備の方向性

- 平和記念公園や比治山公園とのつながりを考慮しながら、平和や芸術を発信できる通りとする。
- 休憩広場や遊具広場、交流広場など、休憩や子供の遊び場、多様な人々の交流などの拠点となる広場を複数整備し、居心地の良いくつろぎの場を提供する通りとする。
- 多様なイベントが開催されるなど、持続的ににぎわいを創出するための交流広場を複数整備し、にぎわいのある通りとする。
- 暗がりの解消や見通しの確保を行うなど、明るく安全・安心な通りするとともに、観光客等にまた訪れたいと感じてもらえるような、おもてなしあふれる通りとする。
- 緑豊かな空間の中で、通り全体での散策が楽しめる通りとする。
- 市民や観光客等が、徒歩や自転車等により、平和大通りから他の地域資源を巡ることができるよう、都心回遊の拠点となる通りとする。

Cゾーン

平和記念公園を訪れる観光客などの人の流れを呼び込むための拠点となるゾーン

平和記念公園を訪れる観光客などの人の流れや鯉城通りなどの南北方向の人の流れを考慮し、民間活力を導入しながら、新たなにぎわいを生み出す中心となる交流広場の整備やその魅力を高めるためのカフェ等の飲食・物販施設等の設置などを行う。

【整備内容】

屋根付ステージ、飲食・物販施設等、ウッドデッキ、可動式テーブル・イス、ベンチ、トイレ、噴水、花壇、写真パネル、案内サイン 等

Bゾーン

平和記念公園を訪れる観光客などの人の流れをAゾーンへと促すゾーン

隣接するゾーンの特性や中央通りなどの南北方向の人の流れを考慮し、交流広場や遊具広場の整備、日本庭園への東屋の設置などを行う。

【整備内容】

遊具(じゃぶじゃぶ池含む。)、屋根付休憩所、東屋、ウッドデッキ、ベンチ、花壇、トイレ、案内サイン 等

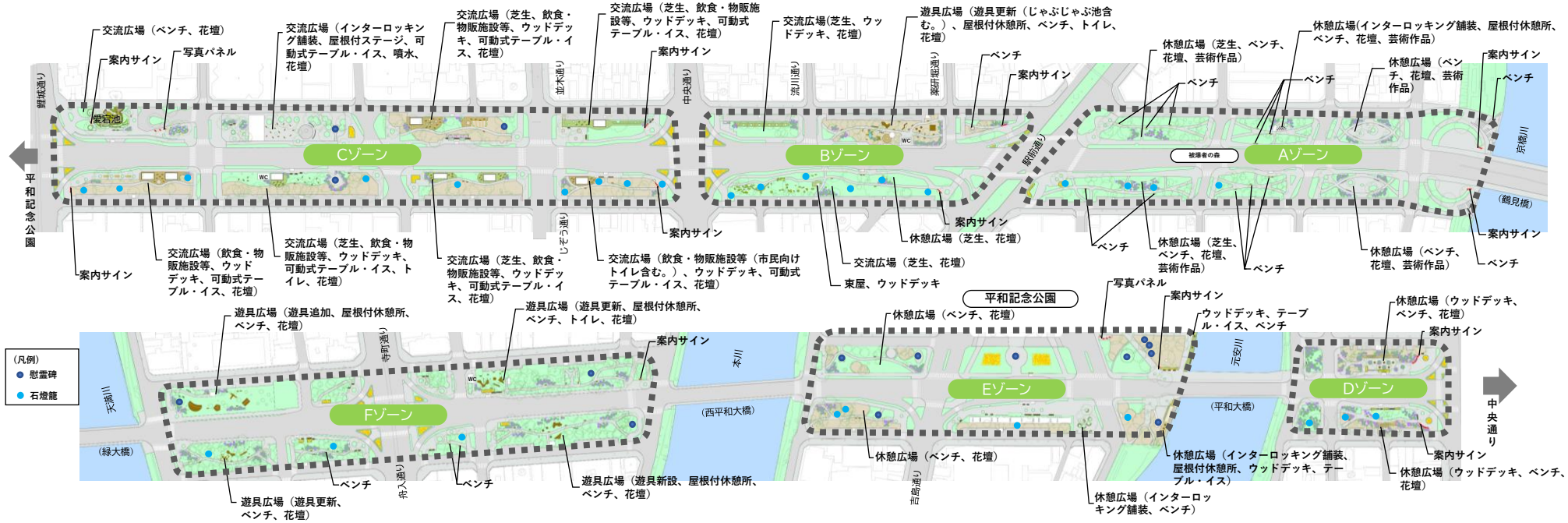
Aゾーン

平和記念公園を訪れる観光客などの人の流れを比治山公園へと促すゾーン

鎮魂の場である被爆者の森との調和や比治山公園とのつながりも考慮し、被爆者の森への休憩広場の整備、芸術作品の設置、比治山公園への回遊を促す案内サインの充実などを行う。

【整備内容】

屋根付休憩所、ベンチ、花壇、芸術作品、案内サイン 等



Fゾーン

地域住民のくつろぎの場を提供するゾーン。また、平和記念公園を訪れる観光客などの人の流れを西区内の平和大通りとその先のJR西広島駅へと促すゾーン

地域住民や観光客などの幅広い世代のくつろぎや楽しみの場となる遊具広場の整備などを行う。

【整備内容】

遊具、屋根付休憩所、ベンチ、トイレ、花壇、案内サイン 等

Eゾーン

平和記念公園に至るアプローチとなるゾーン

平和記念公園との一体性を考慮し、慰霊碑等の周辺の景観整備や平和大橋西詰(南側)の休憩広場の整備などを行う。

【整備内容】

屋根付休憩所、ウッドデッキ、テーブル・イス、ベンチ、花壇、写真パネル、案内サイン 等

Dゾーン

平和記念公園を訪れる観光客などの人の流れを都心に呼び込むためのアプローチとなるゾーン

平和記念公園とのつながりや鯉城通りなどの南北方向の人の流れを考慮し、休憩広場の整備や都心への回遊を促す案内サインの充実などを行う。

【整備内容】

ウッドデッキ、ベンチ、花壇、案内サイン 等

平和大通りを都心回遊の拠点とするための取組

市民はもとより、平和記念公園を訪れる観光客等が、徒歩や自転車等により、平和大通り内を巡り、また、平和大通りから都心部の他の地域資源を巡ることができるよう、その環境づくりに取り組む。

■徒歩で快適に移動できる環境づくり

- ・園路の整備
- ・案内サインの充実
- ・写真パネルの設置

■自転車で快適に移動できる環境づくり

■公共交通で快適に移動できる環境づくり

■回遊を促す仕掛けづくり

- ・平和記念公園や比治山公園とのつながりを考慮した施設整備
- ・ピースツーリズムの周遊ルート等のPR
- ・「平和の道」「文化の道」のPR
- ・パンフレットの作成

A班

- ・参加者が様々なことに詳しく勉強になったのが良かった。多くの意見が出たので、これらの意見を取り入れてもらいたい。
- ・住民である私たちが平和大通りの歴史を踏まえ、バージョンアップさせていく必要があると思った。
- ・今後の平和大通りがどのようになるか気になる。
- ・商店街の関係でまちづくりに携わっており、商店街に関係がある意見があった。そうした意見が聞けたのはありがたかった。

D班

- ・世界からさすが広島と言われるようなまちづくりにつなげてほしい。
- ・広島を代表する通りとして、観光や鎮魂、市民の憩いの場として良い通りになってほしい。
- ・意見が言いやすい環境だった。これだけの規模でワークショップを行っており、すごいと思った。

G班

- ・平和大通りが市民にとって誇れるような通りになると良い。
- ・この取組は、結果的に広島を良くしようということであり、市民が幸せになるためには、これから大切だと思う。
- ・平和大通りに被爆者の森があることなどをできるだけ多くの人に知ってもらいたい。

B班

- ・多様性に富んだ公園になってほしい。
- ・いろいろな意見があって良いものになると思った。
- ・様々な意見が出ており、これらの意見を取り入れて進めてほしい。
- ・良いアイデアがたくさん出たため、それを生かしてほしい。
- ・非常に希望が持てる意見が出ているので、是非実現してほしい。
- ・知らなかったことを知ることができて勉強になった。

F班

- ・より良い平和大通りになればみんなが集まれる場所になると思う。
- ・平和大通りに限らず、公共空間について、このように継続的に話し合いを続けていくことが大切である。
- ・未来のためにどうしていくのか、どう発信していくのがポイントであり、いろいろな声を聞いて進めていくことが大切である。
- ・学生目線で発言することができ、貴重な経験だった。今後の学生生活に生かしていきたい。

「平和大通りの利活用のためのワークショップ」にご参加いただき、誠にありがとうございました。

令和4年8月から合計4回開催したワークショップを通じて、平和大通りの利活用や利活用のための整備のアイデア、平和大通りを都心回遊の拠点とするためのアイデア等を頂き整備イメージを取りまとめることができました。多くの貴重なご意見を頂き、ありがとうございました。

ワークショップは今回で終了となりますが、平和大通りの利活用に向けて、引き続き、ご協力いただきますよう、よろしくお願いします。

